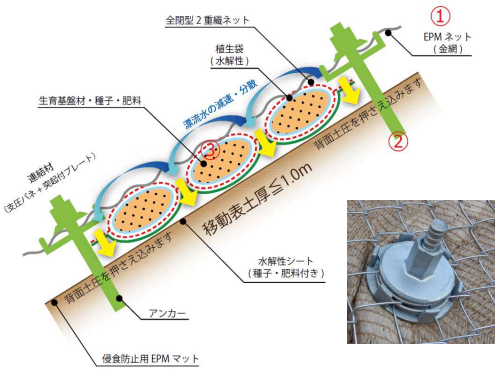
「広島県建設分野の革新技術活用制度」登録技術の活用事例

技術名称 :EPM(斜面侵食防止表層土砂流出抑制対策工法)　　登録事業者：株式会社トーエス広島事務所　　様式２

①　技術概要・概要図

◆EPMは層厚１．０ｍ以下までの地山の侵食を防止する工法
◆侵食防止効果のあるマットと引張強度のある金網+アンカー（突起付きプレート及び支圧バネ、ナット）を組合わせる事で、斜面の侵食防止と表層1.0m以下までの土砂流出を継続的に抑制する。
◆従来工法と比較しモルタルやコンクリートなどの吹付作業を行わず斜面の対策ができる。



②　設計・施工等の概要

項目	概　要
年　度	令和７年度
発注機関	広島市
事業名	善當寺地区市有地法面対策工事（７－１）
対象地	広島県広島市安佐南区沼田町大字伴
工　期	令和７年６月～令和８年２月
数　量	法面工　Ａ＝３８５㎡

③　活用に至った現場条件や経緯

・裏山沿いの民家の崩壊法面で積雪前に工事を終了する必要があった。
・狭隘な現場であるため、大きな機械の置場が困難であった。
・施工時間、日程の制約があり効率が下がることが懸念された。
・民家裏のため騒音の懸念もあった。
・作業工程の短縮、作業員の安全性を考慮した施工を実施する必要があった。

④　活用効果（本事例における効果）

・従来は現場組立作業、現場吹付作業であったが、すべて工場製品であるため設置作業が効率化し工程を20%短縮した。
・人力作業が基本で大きな機械を使用しないため、騒音の心配もなく作業ができた。
・作業工程が短縮できたことで作業員の安全性の向上が確保できた。
・維持管理軽減のためEPM-BOSO（防草型）が採用された。
・全体のコストが約30%縮減した。
・積雪前に無事に工事が終了した。

⑤　活用状況写真

